

2 白川郷学園の学習指導

1 学習指導要領の準用

学校教育法施行規則第79条の6には、義務教育学校の前期課程、後期課程の教育課程は、それぞれ小学校、中学校の学習指導要領の規定を準用するとされている。一方で、平成27年文部科学省告示「義務教育学校並びに中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校の教育課程の基準の特例を定める件」では、相互に関連するものの一部を入れ替えて指導したり移行して指導したりできるとされている。

開校以来、当該学年の標準時数を踏襲しつつ、学習内容の入れ替えや移行を実施してきた。一方で、全国学力・学習状況調査の結果から、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に課題があることから、現在では入れ替え、移行、異学年合同授業について慎重に検討し、可能な範囲で実施している。今後、学習内容の系統性や重複等を踏まえて、子ども達の学びを広げ、深める異学年での効果的な指導の在り方を探っていく。

2 前期課程からの緩やかな教科担任制

本校では開校以来、前期課程から緩やかに教科担任制を進めている。前期課程前半から後期課程にかけて、学習内容が具体から抽象へ変化したり、興味・関心による教材や学習方法の選択の幅が広がったり、探究的な要素が増したりするなど、系統性（縦のつながり）を踏まえた専門的な指導が必要になることから、前期課程の早い時期からの教科担任制は有効に働く。こうしたそれぞれの教員の教科専門性を生かした指導によって、児童生徒



【図表1】教科担任による質の高い授業
(9年生社会科)

	前期課程						後期課程		
	低ブロック				中ブロック		高ブロック		
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	7 年生	8 年生	9 年生
学習内容	具 体 (半具体) 抽 象								
学習要素 (形態)	探究的な要素の広がり								
(対話)	グループでの探究				個人による探究				
	自分の意見を表現				仲間との対話			他者と合意形成	
学習方法	教材・学習方法の選択の広がり								
家庭学習	自律的に取り組む家庭学習の深まり								
	家庭で見届け		自分で採点		苦手克服		計画・実行・振り返り		
教科担任 教科数	4 / 8	3 / 8	9 / 9	8 / 9	9 / 10	10 / 10	11 / 11	11 / 11	11 / 11

【図表2】9年間の学習指導の捉え

が教科授業の学びの楽しさを実感したり深い学びを実現したりできるようにしている【図表2】。同時に、複数の教職員が一つの学級の指導に関わることで、子どもたちのよさや課題を多面的・多角的にとらえ、組織的な生徒指導にもつなげている。

配置される教職員の専門教科や担任する学年も変わるため、年度によって教科担任制の実施可能な学年は変動するが、低学年から緩やかに教科担任制の授業を拡大し、後期課程では完全教科担任制（一部、免外の教科担任制）を実施している。

一方で、入学したばかりの1年生が、1日の中で目まぐるしく教科担任が入れ替わることに不安を抱いていることや、一人の教員がじっくりと児童と向き合い、指導と見届け、価値付けを行うことも低学年の児童への指導として必要であるという考えから、本年度は1年生は算数、体育、音楽以外を学級担任が受け持っている。

3 教科センター方式での授業

児童生徒数の減少により余裕教室ができたことから、本校では各教科教室を設置している【図表3】。音楽や図工・美術等のみならず、前期課程の稼働可能な学年、教科からこの教科教室にて授業を行っている。後期課程では完全教科センター方式をとり、すべての教科において教科教室で授業を行うことを基本としている。各教科の備品（学習用具）や学び方、学習の足跡等の掲示物等の教科独自の環境の中で、教科の空気を感じ取りながら学びを深められるようにしている。



【図表3】教科特別教室（社会）

4 教科授業における地域の教育資源の活用

白川村には、豊かな自然、伝統文化、観光などの生きた本物教材が豊富にある。また、それらを未来へつなぐことを生業にし、魅力を継承している人もたくさんみえる。村民学の授業に限らず、これらの生きた教育資源を教科の授業に活用しない手はない【図表4】。



【図表4】学校外での授業、地域講師を招いた授業

本校には、学校運営協議会の学校支援部より、「地域から学ぶ支援者バンクデータベース」として白川村の人材リストが共有されている【図表5】。本データベースには現在141名が登録されている。現地に出かけたり、講師として招いて特別授業を仕組んだりすることで、本物に触れ、リアルから学ぶことができる。こういった学校内外における感動体験こそが、学びを日常生活や社会とつな

地域から学ぶ支援者バンクデータベース					白川村学童学校運営協議会 学習支援部	令和7年5月28日 更新																											
※これは、学校運営協議会内部資料です。個人情報ですので、勝手に公開してはなりません。							□…相談した ○…連絡した ▲…連絡予定あり																										
№	氏名	住所	電話	領域	内 容	継続・連携																											
						H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	R2	R3	R4	R5	R6															
1	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	白川町の児童・生徒の学習の支援																												
2	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
3	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
4	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
5	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
6	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
7	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
8	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
9	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
10	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
11	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
12	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
13	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
14	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
15	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
16	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
17	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
18	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
19	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
20	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
21	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
22	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
23	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
24	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
25	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
26	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
27	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
28	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
29	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
30	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
31	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
32	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
33	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
34	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
35	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
36	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
37	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
38	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
39	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												
40	山本 誠	白川町 1-1-1	05-1101-1101	白川町立白川小学校	児童・生徒の学習の支援																												

【図表5】地域から学ぶ支援者バンクデータベース

ぎ、学ぶことの有用性の実感や白川村の担い手、未来の創り手としての自覚を高めることにつながる。

5 独自の英語授業

本校では、「SEE（白川郷イングリッシュ・エデュケーション）」としてカリキュラムを作成し、英語教育に取り組んできた。本年度は1、2年生で年間17時間、3、4年生で年間35時間、5、6年生で年間70時間、7年生から9年生までで年間140時間の授業を実施し、実践的コミュニケーション能力を育んでいる。特に後期課程では、教科書教材で学習をとどめず、観光客のいる荻町に出かけて国外からの来訪者とコミュニケーションを図り、学習内容の有用性を実感できるようにしている【図表6】。

加えて、毎週水曜日の昼休みには「グローバルタイム」を設定し、全校児童生徒の自由参加型でALTが中心となって英語に慣れ親しむ時間を設定している。



【図表6】観光地で国外からの来訪者に話しかける生徒

6 ICT機器活用による授業改善

本校では、コロナ禍前から一人一台タブレット端末を導入し、校内Wi-fi環境下で端末を活用した授業改善を進めてきた。9年間の学びについて「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の側面から情報活用能力の系統を1枚にまとめて教職員で共有し、各教科等の学習の中で様々なアプリケーションを活用することで、児童生徒の情報活用能力を高めている【図表7】。



【図表7】タブレット端末を活用した協働的な学び

加えて、生成AIの効果的な活用の在り方については、国の動向を踏まえ、独自に外部講師を招いて職員研修を行ったり、研修で得たスキルを校内研修で広め合ったりしながら、その活用の可能性を広げている。現段階で、社会科や算数・数学科の授業で、生成AIの解答の妥当性を吟味、議論する授業を行っている。今後、このことにシフトし、授業改善に取り組んでいく。

7 期末テストの廃止（後期課程）と単元テストの位置付け

（1）学習サイクルの確立

本校の児童生徒の課題である基礎的・基本的な内容の確実な定着と学習習慣の確立に向けて、本年度より期末テストを廃止し、単元などの学習内容のまとまりごとに短期スパンで行う「単元テスト」を位置付けた。もとより、テストは期間のまとまり（教員の都合）で実施するものではなく、単元などの学習内容のまとまりで実施し、学習内容の定着を図ることが重要である。

期日や範囲を事前（2週間程度前まで）に告知し、併せて具体的な学習方法について教科担任と学級担任が連携し、個別に指導しながら計画を立てて（P）取り組む（D）こと

ができるようにしている。

テスト後は「学習のカルテ」【図表 8】とともに速やかに返却し、課題を明確にする（C）とともに、教科担任と克服する方法を考えたりしながら学習の改善に努めること（A）ができるようにしている。

なお、進学等を考慮すると、総合的な学力の判定や把握が必要であるということ、50分のテストを5時間連続で受けることに生徒が慣れる必要があることから、年間3回（9年生にあっては4回）実力テストを位置付けている。

（2）「ふるさと白川郷ウィーク」の取組

白川村では毎年秋（9月、10月）に祭礼が行われる。本校には獅子舞や民謡などで出役をする児童生徒が多い。したがって、この期間、授業を進めることは困難である。そこで、開校以来、ふるさとの伝統文化に触れるこの期間を「ふるさと白川郷ウィーク」として午前授業とし、補足的・発展的な学習に取り組む期間としている（現在のところ秋休みは設定していない）。

児童生徒は、それまでの単元テストや学習のカルテから自分の課題を明確にし、個別に計画を立てながら学習に取り組んでいる【図表 9】。単元テストの解き直し、タブレット端末の学習支援ソフトを活用した個別最適化された教材での学び、教師が準備した選択制の学習プリントの活用などを行っている【図表 10】。

ふるさとウィーク学習計画表					
国語	数学	理科	社会	英語	
日	日	日	日	日	
日	日	日	日	日	
日	日	日	日	日	
日	日	日	日	日	
日	日	日	日	日	
日	日	日	日	日	
日	日	日	日	日	
日	日	日	日	日	
日	日	日	日	日	

ふるさとウィークは、全期で8日間!!
1学期の間の自分の学習を振り返る。

自分の苦手なところはどこですか?
テストで点数が伸び悩んだところはどこですか?

ふるさとウィークは見逃すチャンス!
時間と先生を有効に使って
学習のレベルアップをしよう!

レベルアップの近道

① 今までのテストと学習カルテで
自分の実力をチェック

② 教科の日数と自分の参加する日を確認
して計画を立てる

③ 学習方法を選択する
・ワーク ・教科書 ・ミライシード
・確認テスト(先生に聞く)

④ できるようになったかを振り返ろう

【図表 9】 ふるさとウィーク学習計画表



【図表 10】 自分の課題克服に向けて取り組む児童

社会 単元1 第一次世界大戦と日本									
評価プリントの結果					得点率(%) ◇: クラス平均 □: 学年平均				
大問	観点	学習のねらい	得点/満点	評価	あなた	クラス	学年	0	10 20 30 40 50 60 70 80 90
1 2 3	知識 技能	第一次世界大戦とこのころの日本についての流れを理解できる。 大正デモクラシーと大正時代の文化について理解できる。 第一次世界大戦中の日本のようすを正しく読み取ることができる。	38点/50点	B	76.0%	71.0%	71.0%		
4	思考 判断 表現	第一次世界大戦後の日本と世界の特徴について、資料を参考に考えることができる。	40点/50点	A	80.0%	66.3%	66.3%		
-	主体的に学習に取り組む態度	第一次世界大戦後の世界と日本の動きについて、主体的にとらえようとしている。	-	A	-	-	-		
合計			78点/100点	-					

ふり回りアドバイス							
1 2 3	B	第一次世界大戦が世界や日本にあつた影響について、おおむね理解できています。間違えた問題は解説解答や教科書を見て解き方を確認し、もう一度やってみましょう。					
4	A	たいいんよくできています。第一次世界大戦後に、世界や日本にどのような機運が高まったかをまとめて、応用的な記述問題に取り組んでみましょう。					

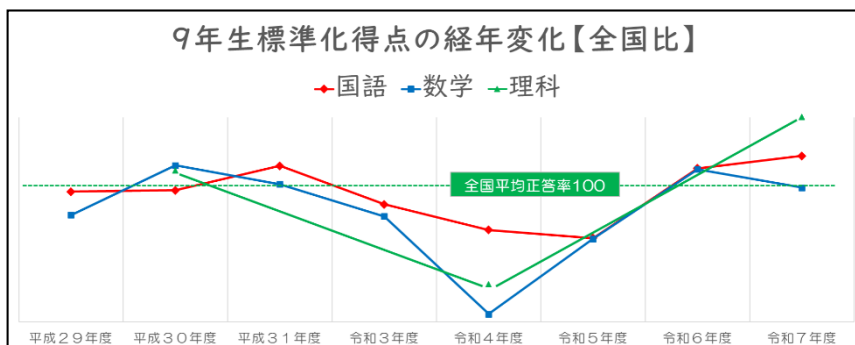
メモ							

【図表 8】 学習のカルテ（後期課程・社会）

8 全国学力・学習状況調査の結果に見る本校の成果

(1) 標準化得点の推移

毎年4月に6年生、9年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査のうち、【図表11】は、9年生の標準化得点の推移を表したグラフである。本年度、総じて全国や県と比べて高く、近年、その傾向が強くなっている。



【図表11】全国学力・学習状況調査の9年生の標準化得点の推移（全国を100）

（小規模校で母集団の小さい本校にとって、平均正答率や標準化得点ほどあてにならないものはないことは理解している。）

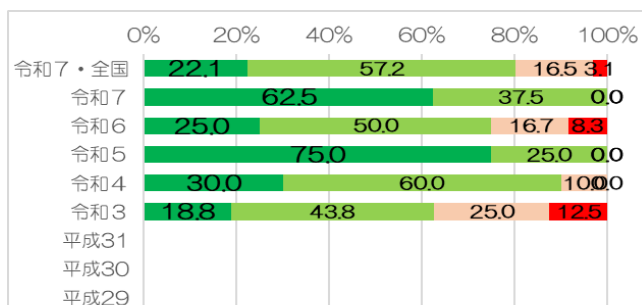
問題別にみると、目的に応じて情報を選択、整理したり、相手の考えと比較して考えたり、相手に伝わるように話の構成を工夫したりする力を見る問題の正答率が特に高い傾向にある。これは、少人数がゆえ、教科学習や村民学、LP活動など、仲間との協働の中で自ずと一人ひとりに出番があり、日常的に聞く力、話す力等が鍛えられているからではないかと推察している。

(2) 学習に対する意識の変化

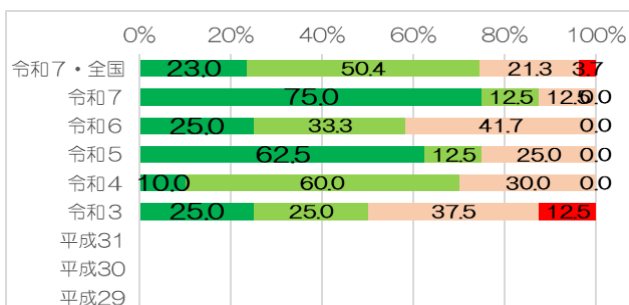
同調査の生徒質問紙における、本年度9年生の回答結果を示す。

（グラフ最上部から：全国回答状況→令和7年度本校9年生→令和6年度・・・→開校時）

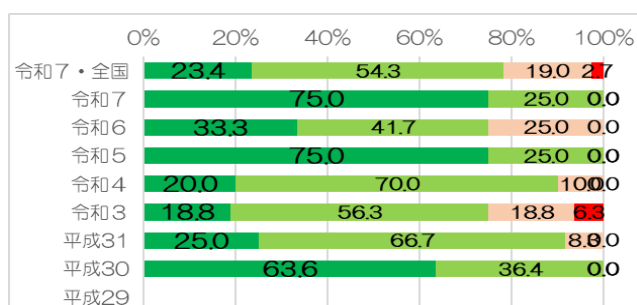
昨年度までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



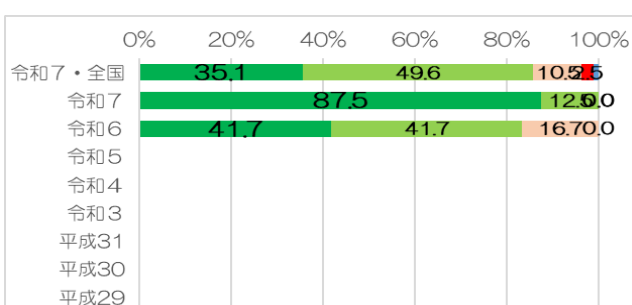
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



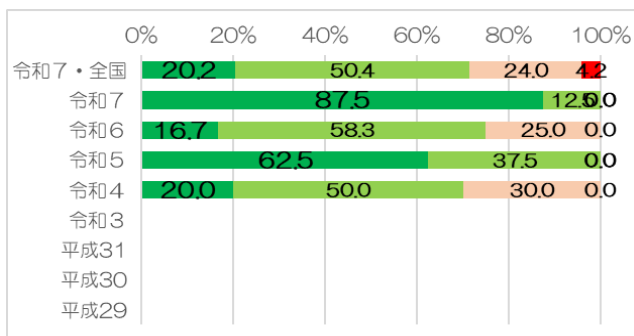
昨年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



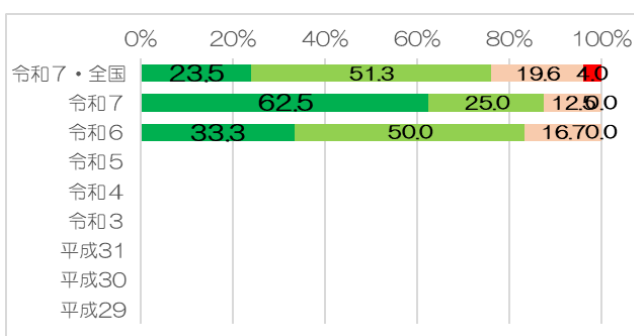
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



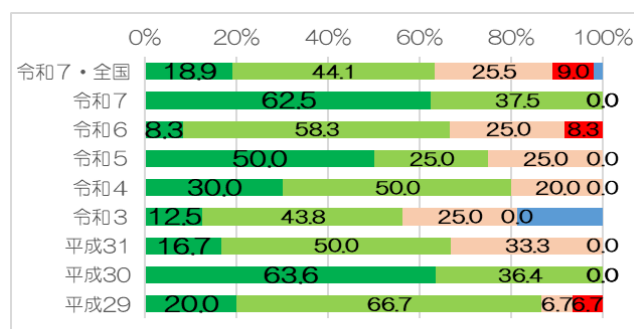
昨年度までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



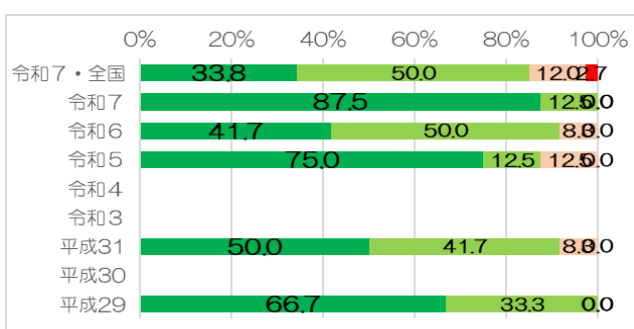
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



昨年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫し発表していましたか



先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



平均正答率の標準化得点や、生徒質問紙の回答状況から、開校以来、本校で行ってきた取組は子どもたちに浸透し、一定の成果を生み出していると考えられる。義務教育学校としてのメリットを生かしてダイナミックに実践してきた成果を次のステージにつないでいく。特に、基礎学力の定着は開校以来、課題となっている。本日の公表会でも、全国学力・学習状況調査の問題別にみられる課題（国語では自分の考えについて根拠を明確にして伝える力、算数では割合の概念理解）を克服するための指導改善を提案する。